



SAPPORO INTERNATIONAL
SHORT FILM FESTIVAL AND MARKET

NoMaps実行委員会 | 札幌国際短編映画祭
〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1
サッポロビジネスビレッジ2FH
TEL 011-812-2000 FAX 011-812-2001

テクノアーティスト・ケンイシイ × 株式会社アレクト トークイベントを開催。 「Netflix シリーズ『ヤキトリ』の舞台裏」

11/23より開幕した第18回札幌国際短編映画祭（SSF2023）にて、札幌出身で世界的なテクノアーティストでありSSF2023国際審査委員を務めるケンイシイさんと、札幌のCGプロダクションである株式会社アレクトによるトークイベント「Netflixシリーズ『ヤキトリ』制作の舞台裏」を開催いたします。

本トークイベントのトピックスは以下の2つです。

Topics 1 : 株式会社アレクトについて

札幌の中心部で、数多くのゲーム・アニメの3DCGアニメーションを手掛けている株式会社アレクト。2020年には中央区内に国内最大級の光学式モーションキャプチャスタジオを設立し、数々のビッグコンテンツの制作に関わっています。札幌の地で世界最前線の映像制作を手がけるアレクトの制作体制や最新の取り組みについてお話を伺います。

Topics 2 : Netflix シリーズ「ヤキトリ」制作秘話

アレクトの最新作Netflixシリーズ『ヤキトリ』が、2023年5月よりNetflixで独占配信中です。同作は『幼女戦記』などで知られるカルロ・ゼンによるミリタリーSF小説を原作とした作品で、監督はアレクトの安保英樹、脚本は堺三保、キャラクターデザインを札幌在住の山形厚史が担当。キャストには坂泰斗、瀬戸麻沙美、武内駿輔、河西健吾、鬼頭明里、津田健次郎、高木渉、稲田徹が名を連ねているほか、作中に登場する管制AI“初音ミミ”役で初音ミクが参加していることも話題になっています。

そんな『ヤキトリ』のサントラを手掛けたのは、札幌出身で日本が世界に誇る“テクノ・ゴッド”こと、テクノプロデューサー/DJのケンイシイ。

実は北海道のスタジオとスタッフが中心となって制作された本作。安保監督、ケンイシイをゲストに迎え、ケンイシイに『ヤキトリ』のサントラを手がけることになった経緯や、どんなことを考えながらサントラを制作したかなどのお話を伺いつつ、札幌でのアニメーション制作の舞台裏に迫ります。

Netflix シリーズ『ヤキトリ』の舞台裏 開催概要

日時： 11月24日 (金) 13:00～

会場： EDiT (南2西6ビル地下) (無料)

登壇者：

ケンイシイ (テクノプロデューサー/DJ)

安保 英樹 (株式会社アレクト 取締役副社長/監督)

小島 夕依 (株式会社アレクト)

成田 穰 (アニメーションプロデューサー)

倉本 浩平 (札幌国際映画祭プロデューサー)

Netflix シリーズ「ヤキトリ」作品概要

『幼女戦記』のカルロ・ゼンが手がける、完全新作のミリタリーSFをアニメ化。
自らの人生を変えるため惑星軌道歩兵部隊「ヤキトリ」に志願した明の運命は！？

『幼女戦記』で鮮烈なデビューを飾ったカルロ・ゼンによる完全新作のミリタリーSFノベルのアニメ化が決定。『ブライト：サムライソウル』のアレクトがアニメーション制作を手がけ、監督に安保英樹、脚本を堺三保、キャラクターデザインを山形厚史が担当する。また音楽を手がけるのは、これが自身初のアニメ音楽作品となるケンイシイ。坂泰斗、瀬戸麻沙美、武内駿輔、河西健吾、鬼頭明里、津田健次郎、高木渉、稲田徹らといった豪華キャスト、また劇中で明たちをサポートする管制AIとして、バーチャルシンガー『初音ミク』とのコラボレーションにより生まれた派生キャラクター“初音ミミ”が登場するなど、かつてないキャストिंगにも注目だ。

巨大星間国家「商連」に支配・隷属されている未来の地球で暮らす、青年・伊保津 明。閉鎖的な社会と反りが合わず反抗的な日々を過ごしていたある日、商連の「調理師」パプキンにスカウトされ、惑星軌道歩兵部隊「ヤキトリ」に志願する。それは、作戦遂行時の死亡率が平均70%の過酷な部隊だった。様々な国から集まったはみ出し者たちとともに、明は自らの定められた運命に立ち向かっていく。

【スタッフ】

原作：カルロ・ゼン「ヤキトリ」 (ハヤカワ文庫JA/早川書房)

監督：安保英樹

脚本：堺三保

キャラクターデザイン：山形厚史

音楽：ケンイシイ

アニメーション制作：アレクト

企画・製作：Netflix

【キャスト】

伊保津 明：坂泰斗/楊 紫涵：瀬戸麻沙美/タイロン・バクスター：武内駿輔/エルランド・マルトネン：河西健吾/アマリヤ・シュルツ：鬼頭明里/ヴァーシャ・パプキン：津田健次郎/リメル武官：高木渉/ジョン・ドゥ：稲田徹/管制AI“初音ミミ”：初音ミク (藤田咲)

作品ページ：<https://www.Netflix.com/title/81186862>

Netflix にて独占配信中

Yakitori: Soldiers of Misfortune (Soundtrack from the Netflix Series)

『幼女戦記』のカルロ・ゼンが手がける、完全新作のミリタリーSFをNetflixがアニメ化！『ブライト：サムライソウル』のアレクトがアニメーション制作を手がけ、監督に安保英樹、脚本を堺三保、キャラクターデザインを山形厚史が担当。そして音楽は、これが自身初のアニメ音楽作品となるケンイシイが担当。作品用に制作した劇伴曲をフルサイズ展開させ、ケンイシイの新譜と言っても過言ではないサウンドトラック・アルバムがリリース。

主要各ストーリーミング・ダウンロードサイトにてリリース

スマートリンク：<https://Netflixmusic.ffm.to/yakitorisoldiersofmisfortune>

トラックリスト：

1. Yakitori (Full Length Mix)
2. Under Pressure (Full Length Mix)
3. Onslaught (Full Length Mix)
4. Armored Combat
5. MOBS
6. Rage Fist (Mozart 「Dies irae」 のカバー)
7. Open Fire
8. Mayday Call (Full Length Mix)
9. Play That Little Night Music (Mozart 「Eine kleine Nachtmusik」 のカバー)

ケンイシイ プロフィール

ケンイシイ (日本) / テクノ・アーティスト、DJ

テクノ・アーティスト、DJ、プロデューサー、リミキサー

「東洋のテクノ・ゴッド」の異名を持つ。'93年、ベルギーのレーベル「R&S」からデビュー。イギリス音楽誌「NME」のテクノチャートでNo.1を獲得。'96年には「JellyTones」からのシングル「Extra」のビデオクリップ (映画「AKIRA」の作画監督/森本晃司監督作品)が、イギリスの“MTV DANCE VIDEO OF THE YEAR”を受賞。'98年、長野オリンピック・テーマインターナショナル版を作曲し、全世界でオンエア。2000年にはアメリカのニュース週刊誌「Newsweek」で表紙を飾る。2001年、織田裕二主演の映画「WHITEOUT」の音楽を制作、日本アカデミー音楽賞を受賞。'04年、スペイン・イビサ島で開催の“DJ AWARDS”でBEST TECHNO DJを受賞し、名実共に世界一を獲得。'05年「愛・地球博」で政府が主催する瀬戸日本館の音楽を担当。2010年には東京都現代美術館で行われた「サイバーアーツジャパン」に出展した3Dインスタレーション作品への参加や、ミッドタウンの館内BGMのミックスを2年間担当するなど、楽曲制作、DJに加え様々な活動を展開。それらの国際的な活動に、世界的通信社「ロイター」が注目し報道配信。全世界の新聞、雑誌などで10億人が目にする事となった。'17年にはベルギーで行われている世界最高峰のビッグフェスティバル「Tomorrowland」に出演をはたしている。2019末、13年振りとなるアルバム「Möbius Strip」 (メビウス・ストリップ) をリリース。そのリード曲「BELLS OF NEW LIFE」、また、PAC-MAN40周年全世界共通テーマ曲「JOIN THE PAC」ではリオ五輪閉会式で次期開催地東京をアピールする映像も手掛けた映像ディレクターの児玉裕一さんがMVを制作、その秀逸さと面白さが話題を呼んだ。2022年はSONYが開発したオブジェクトベースの立体音響360 Reality Audio で楽曲「Liver Blow」を制作、新たな音楽の可能性を表現。また、その曲のMVでは色彩と流動の持つエネルギーを用い、生きている絵を出現させるアーティスト Akiko Nakayamaとコラボレーション、テクノとフィジカル表現の偶然性が表現されたオリジナリティの高い作品をリリースしている。

今年の世界デビュー30周年を迎え、NetflixミリタリーSF超大作アニメ「ヤキトリ」の全編サントラ制作、テクノと伝日本統芸能「能」を融合した新しい演舞「TECHNOH LAB.」 (重要無形文化財総合指定、シテ方宝生流能楽師・辰巳満次郎氏と共演) など、楽曲リリース、イベント出演のみならず様々なプロジェクトに積極的に挑んでいる。

<http://kenishii.com>

<https://www.facebook.com/kenishiiofficial>

https://twitter.com/K_Ishii_70Drums

<http://soundcloud.com/ken-ishii-70drums>

本リリースについてのお問合せはこちら

担当：成田 (090-7513-8352)

メール qdckp692@gmail.com

開催概要

名称

第18回 札幌国際短編映画祭

英語：17th Sapporo International Short Film Festival & Market

通称：SAPPOROショートフェスト 2023/SAPPORO SHORT FEST 2023

主催/運営

NoMaps実行委員会/映画祭運営部門

劇場上映

会期 2023年11月23日（木/祝）～26日（日）

会場 サツゲキ（札幌市中央区南2条西5丁目 狸小路5丁目）

料金：前売券/当日券

・1プログラム券 前売：1,300円（数量限定）/当日券：1,500円

・アワードプログラム券 前売：1,500円（数量限定）/当日券：1,800円

前売券：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/025qm1i2hmd31.html>

*チケットはキャッシュレスが基本になりますので、前売券の購入による、事前決済がオススメです。

*各上映プログラム（約90分）ごとにチケットを購入してください。

*当日券などのチケット情報はこちらでご確認下さい。

当日券：https://sapporoshortfest.jp/page_update_jp/ssf2023-ticket-info/

*実券の前売りチケットの販売は劇場のサツゲキにて数量限定で発売予定。

・ファミリー&チルドレン：前売/当日 一人500円（座席を使用しない幼児の場合は無料）

オンライン上映

会期 2023年12月8日（金）～12月22日（金）までチケット販売

ほぼすべての作品を対象に2週間視聴可能、最終視聴可能日は2024年1月5日（金）*予定

会場 札幌国際短編映画祭公式ページ内（予定）

料金：2,000円 *詳細が決定次第WEBサイトにてお知らせいたします。

札幌国際短編映画祭（映画祭についてのお問合せはこちら）

担当：倉本（090-7512-1481）

メール kuramoto@sapporoshortfest.jp

公式HP <https://sapporoshortfest.jp>

